

「女子大生フォーラム 2016」 ～2020 東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために～ 女子大生の視点から考えるフォーラム 取材のご案内

実践女子大学(東京都日野市、学長 田島眞)は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げていくための、首都圏を中心とした女子大生連携によるプロジェクトを展開、「女子大生の視点から考えるフォーラム」を、2016年12月17日(土) 13:00～19:30、実践女子大学渋谷キャンパスにて開催する運びとなりました。

参加校は、青山学院大学、慶應義塾大学、國學院大學、自由学園、東京女子体育大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、武蔵野大学、実践女子大学などで、女子大生の視点から東京オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていくためのムーブメントを起こしていこうという取り組みで、今回は昨年が続いて第2回目の開催、運営は実践女子大学の学生によるものです。また、本取り組みは渋谷区との共催となっており、渋谷区としては初めての「東京2020 参画プログラム」となる予定です。

実践女子大学では、2014年6月に組織委員会と大学連携協定を締結し、同年より共通教育科目にある「国際理解とキャリア形成」という授業の中で、2年生を中心とする学生とともにオリンピック・パラリンピック連携授業に取り組んできました。新国立競技場にも立地の近い本学は大学連携のハブとしての役割を担い、さらなる大学連携の深化と拡大を推進するムーブメントに取り組んでいます。

本学での本プロジェクト担当の深澤晶久特任教授(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員)は「男女共同参画社会の進展を目指す中、女子大生を中心としたムーブメントをオールジャパンとしての取り組みへ進化させるために、首都圏を中心とした女子大生の連携で開催する、このフォーラムの果たす役割は、意義が大きい」と述べています。

「女子大生フォーラム 2016」 ～2020 東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために～ 女子大生の視点から考える第2回フォーラム (主催:実践女子大学、共催:渋谷区)

■日時:2016年12月17日(土) 13:00～19:30

■タイムスケジュール

13:00～ 開会式

13:30～ 基調講演:フェリス女学院大学 和田浩一教授
「女性の視点から見えるオリンピックとパラリンピックの歴史と課題」

14:30～ ワークショップ

17:00～ 日本文化体験(実践女子大学礼法研究部)

*18:00より情報交換会を予定

■場所:実践女子大学渋谷キャンパス 9階学生ホール(東京都渋谷区東1-1-49)

■基本的な内容

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げるために、大学生として何ができるか、どのようなアクションが求められているのか、レガシーとして何を遺していくのかについて、女子大生という視点を大切に議論し、考え、実際の行動に結び付けていくきっかけとする。

今回のフォーラムでは、

- ① 基調講演
- ② ワークショップで2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために何ができるか、を大学を越えたチームごとに討議。本年は、パラリンピックをテーマに実施。
- ③ 討議結果を各チーム別にプレゼンテーション
- ④ 日本の女性文化(お茶、活け花、礼儀作法など)を実践女子大学礼法研究部により実演、参加各女子大生の体験参加
- ⑤ 情報交換会でのネットワーク作り

■参加校

学校法人 実践女子学園

青山学院大学、慶應義塾大学、國學院大學、自由学園、東京女子体育大学、東洋英和女学院、フェリス女学院大学、武蔵野大学、実践女子大学などの女子学生の皆さん約 50 名

つきましては、ぜひ 12 月 17 日(土)に、女子大生フォーラム 2016 の取材をいただきたく、メディアのみなさまにご案内する次第です。

以上

プレスリリースおよび本件の取材に関するお問合せ、お申し込みは下記へ-----

■実践女子学園 企画広報部広報担当

電話(042) 585-8804 E-mail:koho-ml@jissen.ac.jp